

取組状況の進捗結果 (フォローアップ調査結果)

1. 令和2年度時点の取組状況(1/2)

取組内容の進捗状況は、構成員全体で95%で概ね実施中である。

○:実施予定 ●:実施中・実施済 -:検討不要

具体的取組	目標時期	取組機関													●/取組機関数※	進捗率
		浜松市	磐田市	掛川市	袋井市	湖西市	御前崎市	菊川市	森町	静岡県	気象台	国土交通省	電源開発株			
①水害リスク情報の共有による確実な避難の確保																
■確実な避難勧告の発令に向けた取組																
1 避難勧告等発令を想定した訓練の実施及び発令基準の点検	引き続き実施	●	●	●	●	-	●	●	●	●	●	●	●	-	10/10	100%
2 ホットライン体制の構築及び検証	引き続き実施	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	-	11/11	100%
3 ホットラインや洪水対応演習等の情報伝達訓練の充実	引き続き実施	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	-	11/11	100%
4 河川管理者等からの情報提供	引き続き実施	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	-	11/11	100%
5 避難勧告等発令の判断、伝達マニュアルの検証	引き続き実施	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	-	9/9	100%
■避難指示などを計画的に関係者が取り組むための事前行動計画等の策定																
6 タイムラインの導入の推進及び訓練による検証	引き続き実施	●	●	●	●	-	-	●	○	●	●	●	●	-	8/9	89%
7 職員の誰もが水害対応できるチェックリストの作成	引き続き実施	●	●	●	○	-	-	●	●	●	●	●	●	-	7/8	88%
8 想定最大規模の外力を対象とした洪水浸水想定区域図に伴う、洪水避難場所、退避場所及び避難経路の検討・整備の実施	引き続き実施	●	●	●	●	-	-	●	●	●	●	●	●	-	8/8	100%
9 情報伝達手段の多元化、通信機器の更新	引き続き実施	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	-	10/10	100%
10 確実かつ迅速な情報の提供と地域住民に避難の切迫性が確実に伝わる情報を提供	引き続き実施	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	-	11/11	100%
11 この細やかな情報連絡・情報共有を密にするための情報連絡室(関係機関との情報ネットワーク)の改善	引き続き実施	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	-	11/11	100%
12 避難を行う住民代表との避難に関する意見交換会の実施	引き続き実施	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	-	10/10	100%
13 対応行動整理表によるタイムラインの拡充	引き続き実施	●	●	●	○	-	-	●	○	●	●	●	●	-	6/8	75%
14 ダムや堰・樋門等の機能や効果、操作に関する情報を流域住民等へ周知	R2から順次実施	-	-	-	-	-	-	-	-	●	●	●	●	-	2/2	100%
15 住民の避難行動につながるダム放流情報の改善や通知タイミングの改善	R2から順次実施	-	-	-	-	-	-	-	-	○	●	●	●	-	1/2	50%
16 浸水想定区域図を浸水ナビへ実装	順次実施	-	-	-	-	-	-	-	-	●	●	●	●	-	2/2	100%
17 浸水想定区域内の災害対策拠点である市町・県・国庁舎や災害拠点病院等に関する情報を共有し、各施設管理者等に対する洪水時の情報伝達体制・方法について検討	引き続き実施	●	-	-	●	-	-	●	●	●	●	●	●	-	6/6	100%
■要配慮者施設における確実な避難に向けた取組																
1)施設管理者等への理解促進																
18 要配慮者利用施設の管理者を対象とした防災情報等の提供	引き続き実施	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	-	11/11	100%
19 施設管理者等への理解促進	引き続き実施	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	-	11/11	100%
2)避難確保計画の作成促進																
20 確実な避難体制の確保のための避難確保計画の作成、避難確保計画に基づく避難訓練の実施	H29から順次実施	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	-	9/10	90%
■水害リスク情報等の共有に向けた取組																
1)洪水予報河川、水位周知河川における取組																
21 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図等の作成	H29から順次実施	活用	活用	活用	活用	-	-	活用	活用	●	-	●	-	2/2	100%	
22 洪水浸水想定区域図(想定最大規模)、高潮浸水想定区域、内水浸水想定区域等を基にした洪水ハザードマップの作成・周知の実施	H29から順次実施	●	●	●	●	-	-	●	●	●	●	●	●	-	7/7	100%
2)水位周知河川に指定されていない河川での取組																
23 水位周知河川の拡大の検討	H29から順次実施	●	-	-	●	-	●	-	-	●	-	-	-	-	4/4	100%
24 危機管理型水位計・河川監視用カメラ配置計画の整備及び見直しの実施	H29から順次実施	●	-	-	●	●	○	-	●	●	●	●	●	-	6/7	86%
25 水害危険性の周知促進	引き続き実施	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	-	9/10	90%
26 広域避難体制の検討	引き続き実施	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	-	10/10	100%
27 県から市町への情報収集要員(リエゾン)の派遣の検討	H29から順次実施	活用	活用	活用	活用	活用	活用	活用	活用	●	●	●	●	-	2/2	100%
■自主防災体制の強化																
28 自主防災会が継続的かつ適切に運営されるための情報提供や体制・活動の支援	引き続き実施	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	-	9/10	90%
29 水害リスクが高い区間などに関する情報提供と説明会の開催	引き続き実施	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	-	10/11	91%
■水災害教育の充実																
30 学校などと連携した洪水の特徴を踏まえた水害(防災)教育の拡充・支援体制の構築	引き続き実施	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	-	11/11	100%
31 関係機関と協力・連携した普及啓発活動の実施(出前講座、ワークショップ等)	引き続き実施	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	-	11/11	100%
32 効果的な「水防災意識社会」再構築に役立つ情報や、浸水リスクを周知するための啓発資料の作成	引き続き実施	●	●	●	●	○	-	●	●	●	●	●	●	-	9/10	90%
33 地域における災害時の応急活動・マネジメントや平時の防災訓練の場でのリーダーとなる防災リーダー・講師の育成	引き続き実施	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	-	11/11	100%

※R2年度末時点の取組結果(予定含む)を整理したものであるが、進捗状況によって変更の可能性がある

※取組機関数は、●(実施中・実施済)、○(実施予定)の合計

1. 令和2年度時点の取組状況(2/2)

取組内容の進捗状況は、構成員全体で95%で概ね実施中である。

○:実施予定 ●:実施中・実施済 -:検討不要

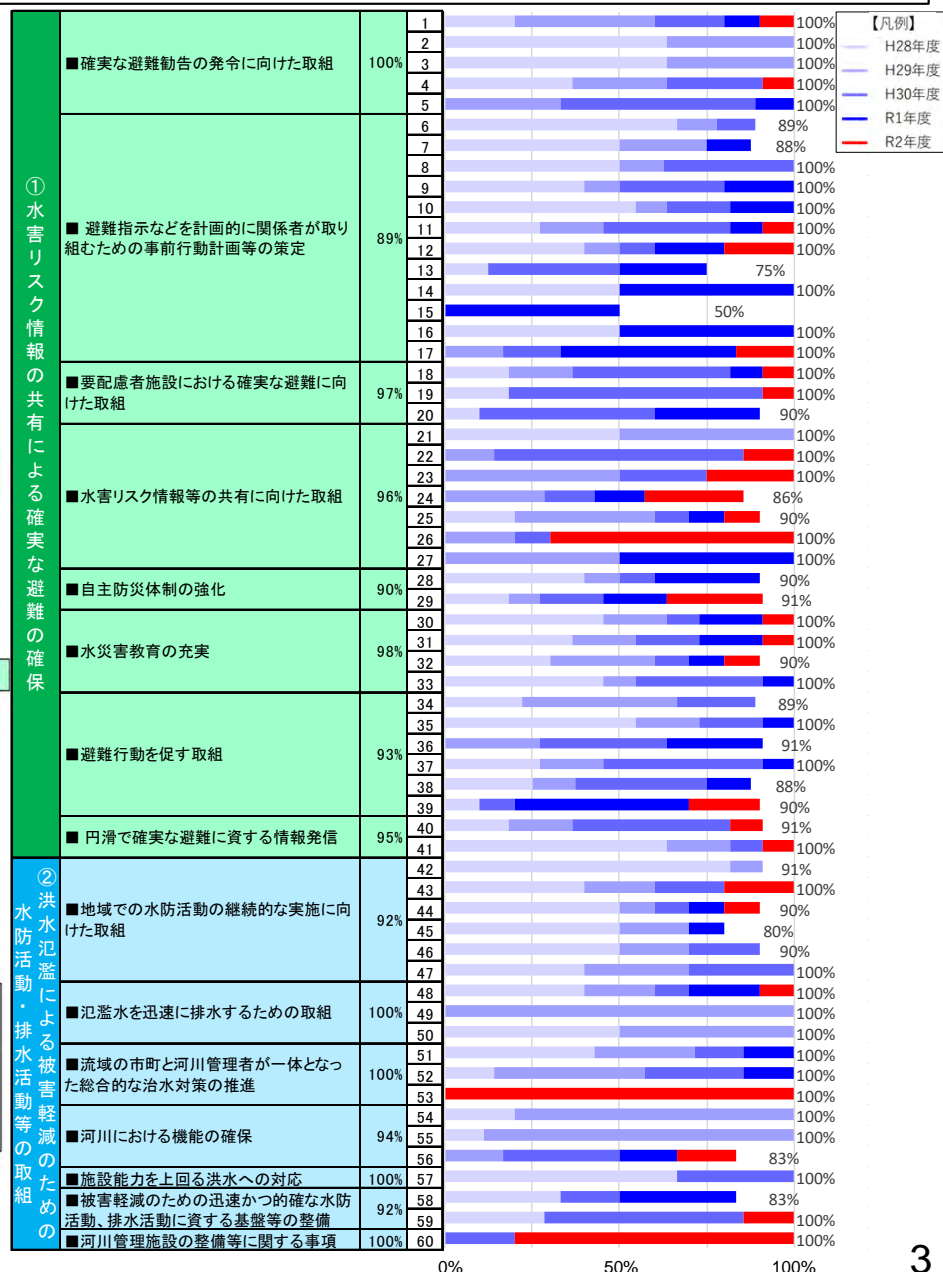
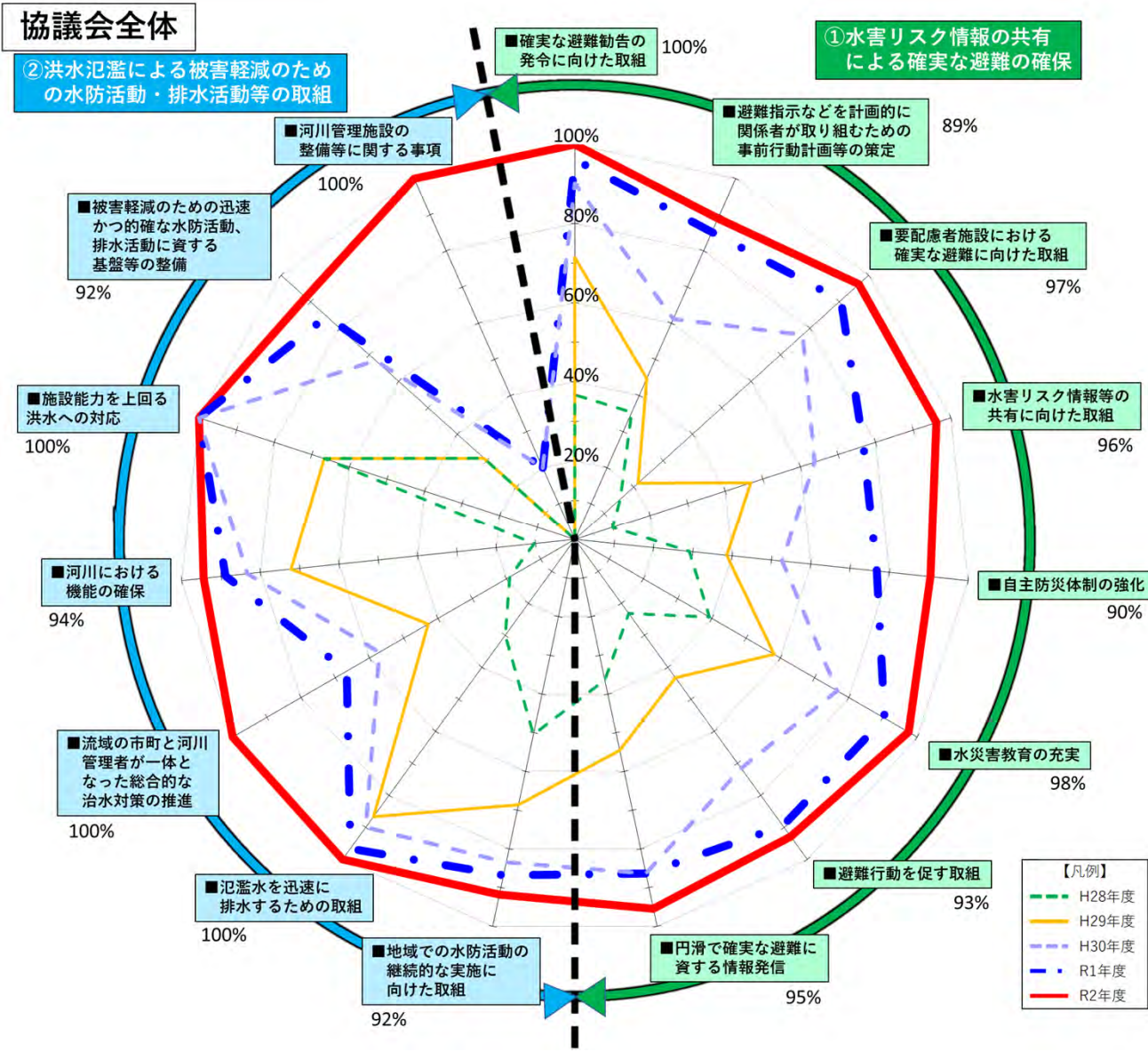
具体的取組	目標時期	取組機関													●/取組 機関数※	進捗率
		浜松市	磐田市	掛川市	袋井市	湖西市	御前崎 市	菊川市	森町	静岡県	気象台	国土 交通省	電源 開発株			
①水害リスク情報の共有による確実な避難の確保																
■避難行動を促す取組																
34 雨量や水位に係るリアルタイム情報の提供	引き続き実施	●	●	●	●	●	○	-	-	●	●	●	-	8/9	89%	
35 出前講座等を活用した住民向けの防災情報の説明会・訓練の充実	引き続き実施	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	-	11/11	100%	
36 防災教育に向けた指導計画の促進・支援体制の構築	H30から順次実施	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●	-	10/11	91%		
37 住民向けの防災情報発信の充実	引き続き実施	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	-	11/11	100%		
38 浸水実績等の周知	引き続き実施	●	●	●	●	○	●	-	●	-	-	-	7/8	88%		
39 マイ・タイムラインの推進	引き続き実施	●	●	●	●	●	●	○	●	-	●	-	9/10	90%		
■円滑で確実な避難に資する情報発信																
40 水害時の情報入手のしやすさ・分かりやすさを支援するための広報活動の実施	引き続き実施	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	-	10/11	91%		
41 住民の避難行動を促すためのスマートフォン等を活用したリアルタイム情報の提供やプッシュ型情報の発信・普及活動の実施	引き続き実施	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	-	11/11	100%		
②洪水氾濫による被害軽減のための水防活動・排水活動等の取組																
■地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組																
42 水防訓練や水防演習等の実施による水防団等との連携	引き続き実施	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	-	10/11	91%		
43 水防活動や緊急復旧活動に活用する資材の充実の検討	引き続き実施	●	●	●	●	●	●	●	●	●	-	-	10/10	100%		
44 関係機関が連携した実働水防訓練の実施	引き続き実施	●	●	●	●	-	○	●	●	●	●	-	9/10	90%		
45 水防団や地域住民が参加する、水害リスクの高い箇所の高点検の実施	引き続き実施	●	●	●	●	●	○	●	○	●	-	-	8/10	80%		
46 水防団員に対しての教育・訓練(水防工法の伝承、安全教育など)の実施	引き続き実施	●	●	●	●	●	○	●	●	●	-	-	9/10	90%		
47 水防団員確保に向けて、自治会への説明会や水防団の重要性をPRする資料を作成するなど普及啓発活動の実施	引き続き実施	●	●	●	●	●	●	●	●	●	-	-	10/10	100%		
■氾濫水を迅速に排水するための取組																
48 地域が有するポンプ等(消防や建設会社)の活用に向けた情報の整理と共有	H29から順次実施	●	●	●	●	●	●	●	●	●	-	-	10/10	100%		
49 氾濫水を迅速かつ的確に排水するための排水計画の策定	引き続き実施	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-	2/2	100%		
50 排水ポンプ車出動要請の連絡体制を整備し、排水計画に基づく排水訓練を実施	引き続き実施	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-	2/2	100%		
■流域の市町と河川管理者が一体となった総合的な治水対策の推進																
51 河川整備計画等に基づく治水対策の着実な推進	引き続き実施	●	●	-	●	-	●	●	-	●	-	-	7/7	100%		
52 ため池や水田など流域の貯留機能の保全、確保などの流出抑制対策の推進	引き続き実施	●	●	●	●	-	●	●	-	●	-	-	7/7	100%		
53 浸水被害軽減地区の検討	引き続き実施	●	●	●	-	-	-	●	-	●	-	-	6/6	100%		
■河川における機能の確保																
54 河川内の堆積土砂撤去や樹木伐採等による流下能力の保全	引き続き実施	●	●	●	●	●	●	●	●	●	-	-	10/10	100%		
55 樋門・樋管等の施設の運用体制の確保	引き続き実施	●	●	●	●	●	●	●	●	●	-	-	9/9	100%		
56 河川管理の高度化の検討	H30から 順次実施	●	●	●	○	-	-	-	-	●	-	-	5/6	83%		
■施設能力を上回る洪水への対応																
57 優先的に対策が必要な河道掘削などの洪水を河川内に安全に流すためのハード対策及びブーム舗装などの危機管理型ハード対策の実施	引き続き実施	●	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-	3/3	100%		
■被害軽減のための迅速かつ確実な水防活動・排水活動に資する基盤等の整備																
58 円滑な水防活動のため橋脚等への簡易水位計・量水標設置	H30から順次実施	●	●	●	○	-	-	-	-	●	-	-	5/6	83%		
59 迅速な水防活動及び緊急復旧活動を行う支援の拠点となる防災ステーションや大規模な防災拠点整備に向けた検討	引き続き実施	●	●	●	●	-	-	●	-	●	-	-	7/7	100%		
■河川管理施設の整備等に関する事項																
60 ダムの柔軟な運用	順次実施	●	●	-	-	-	-	-	-	●	-	-	5/5	100%		
取組機関		浜松市	磐田市	掛川市	袋井市	湖西市	御前崎 市	菊川市	森町	静岡県	気象台	国土 交通省	電源 開発株	全体		
各市の取組進捗率		100%	100%	100%	92%	92%	75%	100%	88%	98%	100%	100%	100%	95%		
●/取組項目数 <small>(取組項目数●:実施中・実施済○:実施予定)</small>		53/53	49/49	47/47	46/50	33/36	30/40	46/46	37/42	59/60	24/24	51/51	2/2	477/500		

※R2年度末時点の取組結果(予定含む)を整理したものであるが、進捗状況によって変更の可能性がある

※取組機関数は、●(実施中・実施済)、○(実施予定)の合計。

2. 各取組内容の進捗状況(協議会全体:取組別)

「①水害リスク情報の共有による確実な避難の確保」、「②洪水氾濫による被害軽減のための水防活動・排水活動等の取組」ともに、概ね9割以上が取組実施中であり、取組着手から確実に進展している。

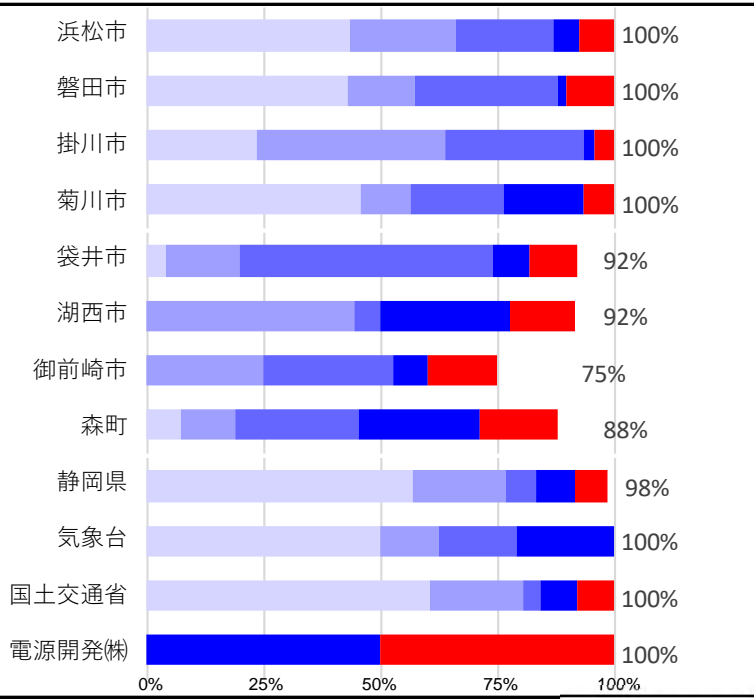


※R2年度末時点の取組結果(予定含む)を整理したものであるが、進捗状況によって変更の可能性がある

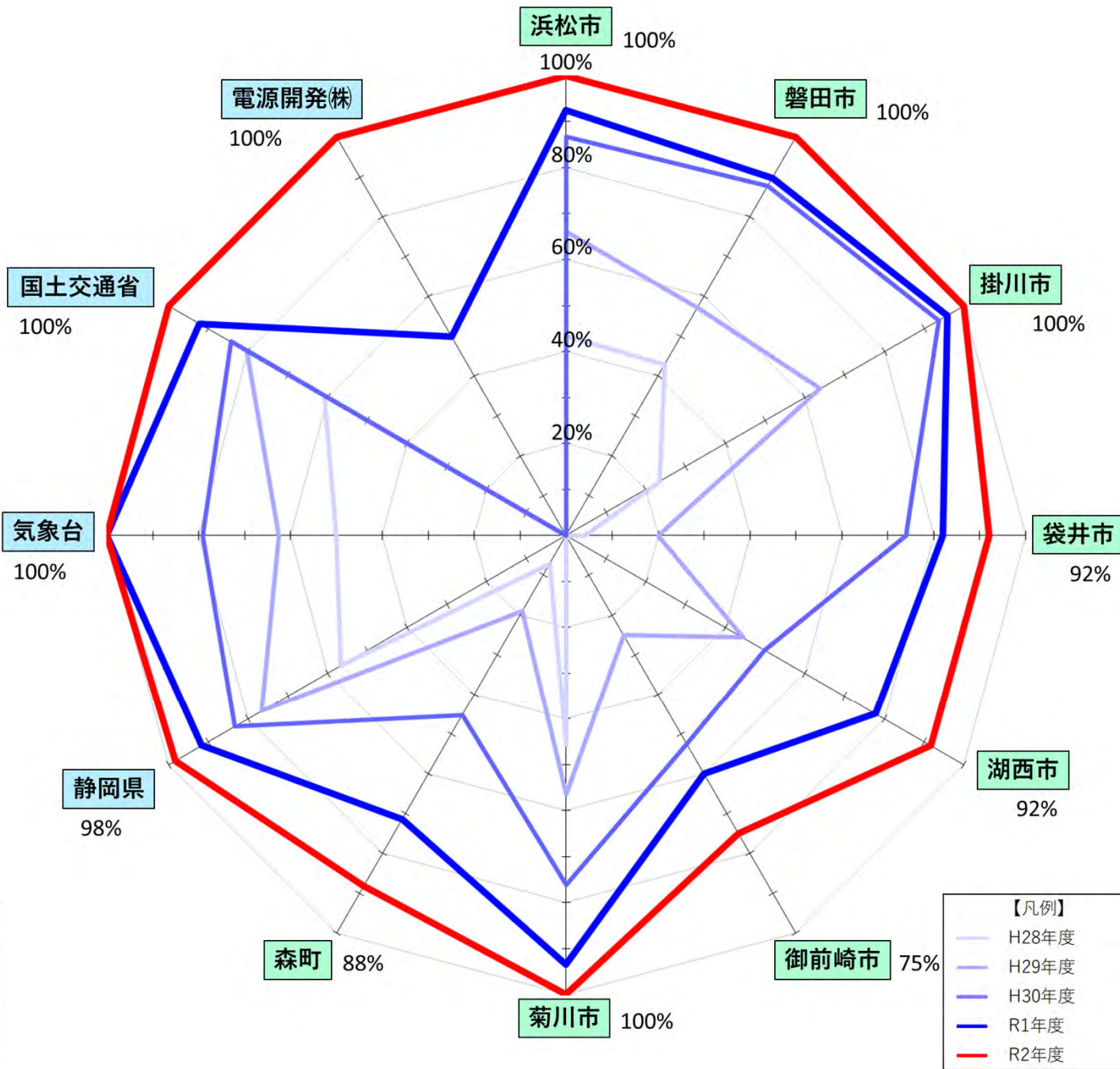
2. 各取組内容の進捗状況(協議会全体:構成員別)

協議会全体の進捗状況は平均で95%であるが、天竜川・菊川に係る自治体とこの他では進捗に差がある(水位周知河川の未指定などが主な理由)。

※構成員別の進捗率(H28~R2年度)



【凡例】
 - H28年度 (淡紫色)
 - H29年度 (浅紫色)
 - H30年度 (中紫色)
 - R1年度 (濃紫色)
 - R2年度 (赤)



【凡例】
 - H28年度 (淡紫色)
 - H29年度 (浅紫色)
 - H30年度 (中紫色)
 - R1年度 (濃紫色)
 - R2年度 (赤)

※R2年度末時点の取組結果(予定含む)を整理したものであるが、進捗状況によって変更の可能性がある